

2015年2月号

2月15日(日)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 221



## 毎週やってくる暴風雪…

雪の少ない冬になりそう…と通信に書いた2日後に予想外の暴風雪がやってきました。その後の週末は2週続けて暴風雪となり、温根内はあっという間に雪で覆われました。かなり強引な帳尻合わせと季節外れの気温上昇に伴う降雨の組み合わせで除雪作業は振り回され、戸惑うばかりの厳冬の釧路湿原です。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【ハンノキ(実)】  
 カバノキ科 樺  
 小さな松ぼっくりの様な実をたくさんつけています。実の中には小さな種子がたくさん入っていて、あちこちに散らばっています。



【オオバタネツケバナ】  
 アブラナ科 大葉種漬花  
 湧水の中をよく見ると、冬でも緑色をした小さな葉が沈んでいます。凍らない湧水で越冬し、春になると小さな白い花を咲かせます。



【ミドリシジミ(卵)】  
 シジミチョウ科  
 ハンノキの枝をよく見ると、1mmほどの小さな白い卵が見つかります。ハンノキの展葉に合わせて孵化し、夏にはきれいな成虫になります。



【エソユキウサギ】  
 ウサギ科 蝦夷雪兔  
 足跡や糞や食痕はたくさん見られますが、実物はとても臆病で、主に夜に活動するため、出会う機会は非常に少ない動物です。



【アメリカミンクの足跡】  
 イタチ科 ※特定外来生物  
 養殖していたものが逃げ出して野生化・繁殖しています。冬の間は在来の水生昆虫や両生類、魚類、ニホンザリガニなどを食べていると思われます。



【エソシカの食痕】  
 暴風雪で倒れたハルニシの木が見事に食べられています。この周辺ではこのほかにもヤナギ類が被害を受けていて、植生の変化が心配されています。

○表紙の写真 上: 雪の低層湿原 中右: 雪に埋もれた看板 中左: 雪上の風紋 下: エソシカ

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

木道周辺で野鳥がよく見られるのは、ビジターセンター周辺と鶴居軌道跡の沢沿い、木道の上空です。ビジターセンターでは無料で双眼鏡を貸し出ししています。お気軽にご利用ください。



【ゴジュウカラ】 五十雀  
ゴジュウカラ科 留鳥  
温根内では一年中見られるおなじみの鳥です。2月中旬から体に似合わぬ大きな声でさえすりを始め、繁殖の準備に入ります。



【ベニヒワ】 紅鷯  
アトリ科 冬鳥  
冬になると大陸から北海道へやってくる冬鳥です。群れでハンノキの実を食べている姿を確認できます。昨年に比べ今年は飛来数が少ないです。



【カヤクグリ】 イワヒバリ科  
夏鳥（一部越冬） 茅潜  
高山で繁殖し、冬になると本州以南へ移動します。今冬は温根内の湧水地で確認しました。目立たない鳥なので、実は毎年来ているのかもしれない。



【オジロワシ】 尾白鷲  
タカ科 留鳥・冬鳥  
多くが冬になると渡ってくる冬鳥ですが、この周辺には繁殖し、一年中見られる個体もいます。エサを探して高い木の上止まっているのを見かけます。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（1月15日～2月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順  
■タンチョウ ■トビ ■オジロワシ ■オオワシ ■ノスリ ■ケアシノスリ ■フクロウ ■コミミズク ■コゲラ ■アカゲラ ■ハシボソガラス ■ハシブトガラス ■ワタリガラス ■ハシブトガラ ■シジュウカラ ■ヒヨドリ ■エナガ ■ゴジュウカラ ■キバシリ ■トラツグミ ■ツグミ ■カヤクグリ ■セグロセキレイ ■マヒワ ■ベニヒワ ■シメ

### ♪歩くスキーで冬の湿原を楽しもう！ 貸し出し無料！

12月の暴風雪に始まり、その後は小雪だった温根内も、1月半ばから毎週のように訪れる暴風雪により、歩くスキーを楽しむには十分な積雪となりました。昨シーズンに比べると枯れヨシが倒れて見通しが良く、釧路湿原の広がりや存分に堪能することができます。

探勝木道コースは木道沿いに変化に富んだ湿原の植生と景色を楽しむおすすめコースです。雪の降らない日や暖かい日が続くと木道上の雪が解けて凍ってしまうため、注意が必要です。



鶴居軌道跡は釧路湿原展望台方面へ続く湿原と丘陵地の間を通る遊歩道です。ひたすら歩きたい方にお勧めのコースですが、動物の痕跡がよく見られるコースでもあります。

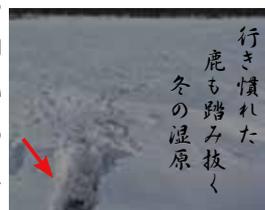


凍らない湧水付近ではタンチョウの足跡が見られることもあります。また、他のコースと比べると日陰で雪質が良いため、3月中旬まで楽しめるコースでもあります。



新釧路川右岸堤防コースは釧路市内まで続く大きな堤防道路で、少し高い位置から広く湿原を見渡せる気持ちの良いコースです。

スキーを楽しむ際にはコースから外れないようお願いします。湿原内は湧水や小川などがあり、凍っているように見えても踏み抜く危険があります。コースの情報はお気軽にスタッフまでお尋ねください。



行き慣れた  
鹿も踏み抜く  
冬の湿原

☆☆☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆☆☆



○「厳冬の湿原ハイク」 参加者：11名

1月18日(日)、パークボランティアの若山氏を講師に、厳冬期を迎えた湿原で観察会を行いました。

前日に大雪が降って雪質が良かったため、急ぎよ歩くスキーで観察会を行いました。初めにセンター裏の森に入り、湿原とその周辺の植生を観察。その後動物の足跡を探し、その様子から足跡の主の生態について説明。この他に冬でも凍らない湧水地や湿原内のガマの話などを聞きました。前日まで続いた暴風雪の名残の風が吹き、文字通り「厳冬」の中での観察会でした。



○「歩くスキーで湿原ハイク」 参加者：17名

2月8日(日)、釧路市立博物館と共催で、歩くスキーを使って湿原とその周辺を観察するイベントを行いました。

博物館からは昆虫が専門の土屋氏と、植物が専門の加藤氏が登場し、土屋氏からはループを使ってハンノキの枝に付くミドリシジミの卵探しをしながら昆虫の越冬について説明、加藤氏からは冬芽や水中で冬を越す植物のいろいろな作戦についての話がありました。イベントが終わる頃には歩くスキーにも慣れ、参加者の皆さんは冬の釧路湿原を存分に楽しみました。

☆☆☆☆イベントのご案内(3月) 事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪春を待つ湿原ハイク

〔日時〕3月15日(日) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

雪に覆われている湿原も3月半ばにもなると春の気配があちこちに見られます。そんな目立たない気配を探して木道を歩き、一足先に湿原の春を感じてみましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこつと) ⇒お申し込み☎015-487-3003

♪釧路湿原フィールドウォッチング

〔日時〕3月7日(土) 10:00～12:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕憩の家かや沼駐車場

シラルトロ湖畔や蝶の森で鳥や植物など周辺の自然を観察します。



朝の湿原はマイナス20°C近くになることもあります。暖かい格好でお越しください。

月刊 温根内通信 No.221

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/>

**Facebook**: <https://www.facebook.com/Onnenai.VC>

開館時間: 10:00～16:00(4月～10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料